



川（万之瀬川）のめぐみ

万之瀬川は、薩摩半島では最長の川です。鹿児島市下福元町錫山付近が源流で南九州市へ流れ、野崎川、神殿川、麓川、永里川と合流し、南さつま市の吹上浜から東シナ海に流れ出ます。

この川を、川辺広瀬川漁業協同組合をはじめ川辺故郷会、永田農地利用組合、地域住民などが万之瀬川振興会を組織して、川の豊かなめぐみを守り、育てています。

万之瀬川に生息する主な魚など



ハヤ



アユ



ウナギ



コイ



モクズガニ (山太郎ガニ)



カワムツ



テナガエビ (ダンマ)



ギンブナ



ハゼ



ドジョウ

(写真提供・協力：県水産技術開発センター、道の駅 川辺やすらぎの郷、Happy Fish)

川の楽しみ・豊かな食材

イベントや祭りをとおして、川に接する機会の少ない子どもたちなどが、川や生き物の面白さなど体験できます。

アユは塩焼きが一番、モクズガニは塩ゆでや味噌煮込みで、テナガエビはかき揚げやそのまま焼いて食べると大変美味しいです。



▲ウナギとアユのつかみ取り (道の駅 川辺やすらぎの郷)



▲天然アユの塩焼き体験
(小京都ふるさと祭り)



▲マス釣り (かわなべ磨崖仏まつり)



川で遊ぶときは注意しましょう！

1. 川に行く前に

- ①必ず家の人に、川に行くことを伝えよう。
- ②1人で行かない、子どもだけで行かない。
- ③必ず天気や川の情報をチェックしよう。
- ④ライフジャケットなど、活動に合ったものを準備しよう。

2. 川に着いたら

- ①まず周りをよく見て、川に関する看板があれば確認しよう。
- ②もしもに備えて、安全に避難する方法を確認しよう。
- ③上流の状況も考えよう。

3. すぐに避難

- ①増水の前兆や、警報が鳴ったら直ちに避難しよう。
- ②パトロールの人たちや警察・消防、河川管理者の注意には必ず従おう。

4. もしおぼれている人を見かけたら

- ①大声で助けを呼ぼう。(すぐに119番、110番に連絡しよう)
- ②陸から長い棒などをさしのべたり、何か浮かぶ物(ペットボトルなど)を投げ渡そう。

資源保護の取り組み

万之瀬川振興会では、川の資源を守るため、年間をとおして万之瀬川の資源確保、整備、清掃活動および伝統文化、食文化の啓発活動を行っています。

会では魚などの生き物が生息しやすいよう、川床の洗浄やすみかの設置、アユ、モクズガニ、テナガエビ、ウナギなどの放流、外来種の駆除、魚道の管理のほか、河川流域の環境保全に努めています。



▲外来種の駆除活動。(捕獲されたブルーギルなど)



▲石倉は、ウナギや小魚などのすみか作りのため設置されます。



▲川床を洗浄し、生き物が住みやすいよう、また、産卵しやすいようにします。



▲アユ、モクズガニ、テナガエビ、ウナギなどを放流しています。



▲アユやモクズガニなどが万之瀬川を遡上できるよう魚道を整備しました。これらの魚道の完成により万之瀬川は河口から岩屋公園まで遡上したり、下ることができるようになりました。
魚道とは、ダムや滝などの障害物によって、魚などの往来が妨げられる場合に設ける通路。

▲河川流域の清掃や桜の植樹などの環境美化活動。

万之瀬川 あゆ漁解禁 7月21日 (10月末まで)



夏休み期間中、釣りのみ無料。その他の期間は遊漁券（有料）が必要です。

◎遊漁券販売所

万之瀬川（川辺地域）で、魚を釣ったり、網を使う場合は、漁協が発行する遊漁券（有料）が必要です。詳しくは、下記の販売所へお問い合わせください。

【販売所】

- ・南九州市役所（川辺支所）
農林水産課 耕地林務係
☎ 0993-56-1111
- ・福元養鯉場
☎ 0993-56-1263
- ・フィッシング轟
☎ 0993-56-0557

このような活動のかいあって、年々、万之瀬川（内水面）の環境は良くなってきました。多くの生き物が生息しています。川は、わたしたちの生活と密着しており、生活用水などが流れます。浄化作用

川辺広瀬川漁業協同組合は河川（内水面）の漁協として活動しています。漁協では、各種団体・事業所や一般の方々の協力をいただき河川の環境整備などを行っています。平成25年度からは水産多面的機能発揮対策事業を取り入れて行っています。



川辺広瀬川
漁業協同組合
組合長 小蘭義文



▲こせ溪谷

はありますが、ひとりひとりが汚さないよう心がけ、大切な川を守っていただきたいです。
川には多くの魅力があります。多くの方が関心を持っています。親しんでいただけるよう、これからも万之瀬川に生息する多くの魚類の保護、増殖をはじめ、環境美化を図り、水産資源の確保はもとより、観光資源の創出につなげていきたいと思っています。